

科目ナンバリング		G-LET11 61431 LJ36									
授業科目名 <英訳>		中国語学中国文学(特殊講義) Chinese Language and Literature (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名		人文科学研究所 教授 池田 巧			
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2019・ 前期	曜時限	木1	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目		中古音講義 [I]									
【授業の概要・目的】											
切韻系韻書に反映された隋代の字音を反映する中国語の中古音について概観し、研究史と音価復元の方法について紹介する。											
【到達目標】											
中国語の中古音研究がどのように行われてきたのか、主要な業績を紹介しながら研究の歴史を辿り、韻書から推定しうる中期中国語の音韻体系を概観する。これまでの研究で何がどのように明らかにされてきたのかについて学ぶとともに、あわせて中国語史の基本的な術語や文献資料についても理解を深める。文献解読において、中国語史の知識が必要になる場面ですみやかに対応できるよう、より専門的な工具書や研究書についても把握しておきたい。											
【授業計画と内容】											
以下の計画に沿って講義を進めるが、参加者の理解状況とトピックによって、テーマごとの講義回数あるいは順序に変更が生じる可能性がある。											
<ol style="list-style-type: none"> 1．中国語音韻史の研究とは：授業の方針と計画について 2．切韻と広韻 3．切韻序と基礎音系 4．切韻系韻書の体例 5．四声相配と韻の配列 6．反切とは 7．反切の分析 8．反切系聯法 9．等韻図とは 10．転図の構成 11．中古音の音類 12．転図の等位と声韻の配置 13．音類による中古音の表記 14．中古音を知る工具書 15．まとめと総括 											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
平常点評価：授業への取り組み（50点）と授業内小レポート（50点）											
----- 中国語学中国文学(特殊講義)(2)へ続く -----											

中国語学中国文学(特殊講義)(2)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)

李思敬 『音韻のはなし』 (光生館) ISBN:4-332-87023-9

牛島徳次・香坂順一・藤堂明保 『中国文化叢書 1 言語』 (大修館書店) ISBN:4-469-13001-X

[授業外学習(予習・復習)等]

参照すべき文献は多岐にわたるので、テーマに応じて授業時に指示する。指示に従って読んでおくこと。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。